

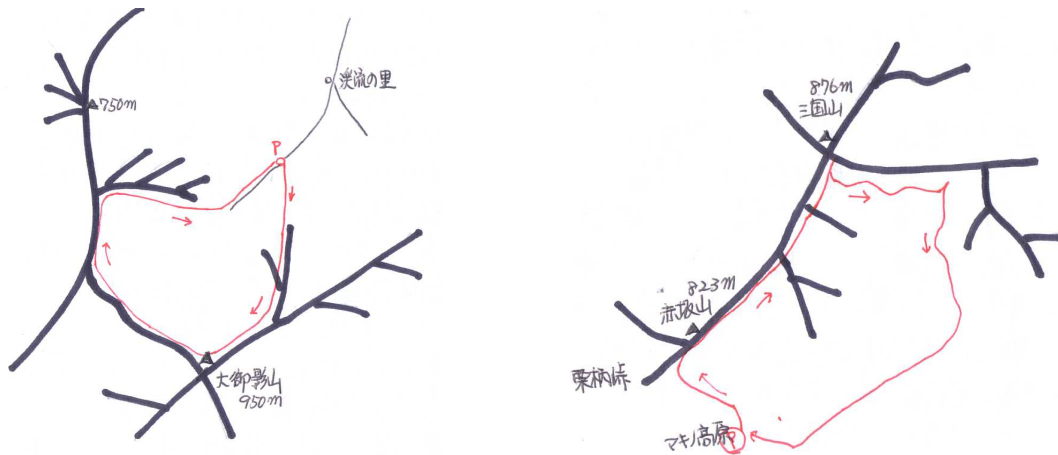
		報告書作成	愛知岳連 岡崎山岳会 金原和子		
山名[山域]	大御影山・赤坂山～三国山	目的[方法]	早春のブナと花鑑賞		
期 間	2007年4月28日～29日	形 態	1泊2日(各日帰り)	参加人数	2名

行動記録:

4・28(土) 岩津 5:50 = 豊田東 IC.6:00 = 関ヶ原 IC.(¥1200) = 敦賀 IC.(¥900) = R27 = 美浜町 = R213 = ハゲノ谷登山口 9:05・9:35 - ブナ林-ヌタ場 11:15 - 反射板-大御影山(950M)12:00・12:10 - 白谷口 13:50 - (林道) - ハゲノ谷登山口 14:10・14:30 = 若狭町立温泉きららの湯(600円) = 道の駅若狭 熊川宿(泊)

4・29(日) 道の駅若狭 熊川宿 4:35 = マキノ高原キャンプ場 5:20 - 赤坂山登山口 5:55 - 栗柄越 6:50 - 赤坂山(823M)-8:00・8:15 - 明王の禿 8:30 - 三国山(876M)9:40・10:05 - 三国山分岐 10:25 - 黒河越 11:00 - (林道 11:10・下山の車に乗せていただく) = マキノ高原キャンプ場 11:35 - ささの湯(600円) - マキノ高原キャンプ場 12:40 - 木の本-関ヶ原-藤原-R23-R1-岩津 16:40

概念図:



日誌:

4・28(土) 通勤割引を利用し日本海側より、大御影山へ向かう。地形図にも山名のない、しかし若狭の最高峰である。予定どおり美浜町～新庄の集落を過ぎ溪流の里をぬけて登山口に近づくと京都ナンバーの車が。道の状況を尋ねるとまだ先に進むとのこと未舗装の林道をしばらく進み、登山口の看板を見つけ駐車し準備を整え出発しようとするとなんと左後輪がパンクしている。ホイールも行方不明。空模様が心配なので、ただちにタイヤ交換するとともにホイールの探索。林道を徒歩でもどると先程の男性が、ホイールを手に持ち登ってきてくれる。アクシデントのせいで、予定より出発が、遅れるが目印のテープが、かなり密度が濃くつけてあり、心配ない。人っ子一人いないブナ林の中をもくもくと登る。遠くで、雷鳴が聞こえパラパラと小雨が、いそいでカッパの上を羽織るが、それ以上ひどくならずすむ。山頂からは、山また山のすばらしい展望である。

4・29(日) スペアタイヤで帰らなければならないので、早朝より移動を開始する。マキノキャンプ場はGWなのでオートキャンプ場が大賑わいである。満開の八重桜を見ながら登山口へ。イカリ草の花を楽しみながら稜線にでると昨日登った大御影山の大きな山塊が。数年前この花が見たいと来たキスミレが、あちこちに咲き競っている。イワウチワ咲く三国山を過ぎると登りの登山者とかかなりの数すれちがう。人気の程が、うかがわれる。黒河越からの林道歩きが長いので気合を入れて歩き始めるが親切な下山の車に乗せていただきキャンプ場まで。帰路は一般道を60キロ厳守で、無事帰宅。

感想:

28日 心配したお天気もウインドブレーカーがわりにしたカッパのまま持ち 春の森の芽吹きを堪能できた。次回は、その先の近江古道方面を歩いてみたい。

29日 黒河越への林道は道幅狭く昨年は土砂くずれで通行止めになっており乗用車では、かなりきびしい。